

文学部 人文社会学科

—学位授与・教育課程編成の方針—

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位授与の前提となる教育理念と目的】

人文社会学科は、歴史学・地理学・社会学などの人文科学諸分野が有機的に連携し、時間（歴史的）、空間（地域的）、関係（社会的）の3つの観点から履修コースを設定して体系的教育を行います。奈良をはじめ日本や世界の文化と社会の多面的な理解に基づき、批判的な観察と論理的な分析を通じて的確に判断し、表現できる力を身につけ、激しく変化する社会と文化に対して、自ら問いかけ、主体的に解決に取り組む女性の育成を目的とします。

【身につけるべき力】

- ・資料・史料や文献を読み解き、体系的理解に基づいて新たな情報を客観的に分析し、論理的に考えて表現する力
- ・フィールドワークや調査を通して多様な人々と協調・協働し、コミュニケーションできる力
- ・社会の変化に対して自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、問題解決に取り組む力

【学位授与の要件】

本学部で定めた在学期間内に上記の目的に沿った授業科目を履修し、所定の単位を修得のうえ、卒業論文を提出して審査に合格した学生を、上記の力を身につけたものと認め、「学士（文学）」の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【人文社会学科のカリキュラム構成】

人文社会学科は、社会と文化について広い視野から主体的に考えるために、歴史学、地理学、社会学の3コースから構成されています。各コースが連携することで、過去から現在に至る人間の諸活動について体系的に学び、発展的に知識を獲得し、学術的スキルを磨くことができるようにカリキュラム構成が配慮されています。

【人文社会学科の特色ある教育内容と方法】

- ・社会・地域・文化に関する知識を獲得するために、時間（歴史的）、空間（地域的）、関係（社会的）の3つの観点を体系的に学ぶための科目を開講しています。

- 史料から現代メディアに至るまでの多様な研究題材を用いて、歴史学・地理学・社会学に関する専門的・発展的知識を身につけるための科目を開講しています。
- 社会調査やフィールドワークを実践的に学ぶための科目を開講し、情報収集・分析・応用のための方法論を習得します。
- 本学科が推進する「なら学プロジェクト」では、奈良の社会や歴史、文化を現代的視点から読み解くための科目を開講し、地域学・地域研究を実践的に学びます。

【学修成果の評価】

学修成果の評価は、それぞれの開講科目のシラバスに示された成績評価の方法（定期試験、レポート、授業での発表等）に従い、公正かつ厳格に行います。